

A night scene of a light festival. At the top, a large sign made of blue lights reads "WELCOME TO JOYO". Below it, a path leads into a tunnel of blue lights. The overall atmosphere is festive and celebratory.

WELCOME
TO JOYO

TWINKLE JOYO
2015について

ユニ子

開催日時

TWINKLE JOYO は毎年12月1日から25日に京都府にある『城陽市総合運動公園レクリエーションゾーン』で

実施されています。

場所については次ページ以降で行き方も含めて詳しく説明します。

初日の点灯式は17：15に行われます。

その日以降は17:30です。

なお、点灯以前に行っても会場は開いているので早く行き過ぎても大丈夫です。

開催場所

TWINKLE JOYO は『城陽市総合運動公園レクリエーションゾーン』で開催されています。

Google マップで検索した時のURLを掲載しておきます。

(<https://www.google.co.jp/maps/place/%E5%9F%8E%E9%99%BD%E5%B8%82%E7%B7%8F%E5%90%88%E9%81%8B%E5%8B%95%E5%85%AC%E5%9C%92/@34.8539416,135.7979138,14z/data=!4m2!3m1!1s0x600116cd9ab55bf9:0xa71e9ae2eaa137b2>)

(上記のURLから検索できない場合『城陽市総合運動公園』と検索してください)

この場所は普段でも年末年始の12月29日～1月3日を除いた日なら利用することができます。

(レクリエーションゾーンの一部とスポーツゾーンは予約が必要です。詳しくは公式サイトを確認してください。公式サイトURLはこちら (<http://www.kyuk.net/>) です。)

著者が訪れた時、レクリエーションゾーンでは幼稚園児程度の子どもが遊んでいました。スポーツゾーンではどこかの団体が活動を終えたのか小学校高学年程度の児童が帰るところでした。いずれにしても賑わいを見せていました。イルミネーションだけを見に行くのもいいですが、点灯する瞬間を見るために早めに行き、遊んで待っているのもいいかもしれません。上の方は景色がいいので大人にもお勧めです。

なお、こちらの公園に行く場合は公共交通機関を使用することをお勧めします。最寄り駅は三つあります。

近鉄京都線寺田駅・JR奈良線城陽駅(著者はこの駅を使用しました)・JR奈良線長池駅です。

それぞれの駅から下車した後、バス停に行き(どの駅の近くにもバス停はあります。)バスに乗ると

城陽駅からの場合は15分ほどで公園に到着します。バス代はこれも城陽駅からの場合ですが

大人150円・小人80円です。このバスは15分から20分間隔で運行されています。

ただ、とても混むので人混みが苦手な人は辛いかもしれません。そのような人は歩きましょう。

子どもが小さいと大変ですがある程度大きければ大丈夫です。著者も行き・帰りとともに歩きました。

それでは次のページでは行き方について詳しく説明します。

行き方（1）

このページでは各駅から地下鉄東西線の六地蔵駅までの行き方を説明しています。

今回著者は地下鉄烏丸線沿線にある自宅から向かったので地下鉄東西線・JR奈良線を使用しました。同じようなルートを検討している方は参考にしてください。

地下鉄烏丸線を使用して烏丸御池駅まで行きます。この駅にはホームドアがあります。乗り換えの際、北大路・国際会館方面からの人は一番後ろの車両に乗っておくと乗り換えが楽です。電車を降りた後はこちらの案内に従って歩いていけば地下鉄東西線のホームに着きます。



矢印が示す方向に向かって歩いていけば大丈夫です。途中で階段を降ります。（地下鉄烏丸線のフロア下に地下鉄東西線のホームがあるので。）

地下鉄東西線のフロアまで着くと二つ乗り場があると思います。そうしたら下図の案内がある方に来た電車に乗ってください。（六地蔵行きとアナウンスがあるので分かるかと思います。）



この電車は京都市役所等を経由して六地蔵行きまでの場合、六地蔵まで行きます。途中かなり駅があるので子どもがいる場合には飴等を持っていったほうがいいかもしれません。なお、反対側の電車に乗ると二条城などに行くことができます。そちらの電車の終点は太秦天神川駅です。

それでは次のページでは六地蔵駅から城陽駅までの行き方を説明します。

行き方（2）

このページでは地下鉄東西線の六地蔵駅からJR奈良線の城陽駅までの行き方を説明しています。

地下鉄東西線に乗り六地蔵駅に到着しました。この駅は終点ということもあり烏丸御池駅ほどではありませんが賑わいを見せていました。

まず六地蔵駅に到着したら出口に向かいます。出口に向かうには下図のようにエスカレーター・階段はもちろん図には載せていませんがエレベーターもあります。



改札口を出たらいくつか出口がありますが、出口1に向かいます。

これがその出口に掲示されている案内です。間違えないように気をつけてください。



出口1から地上に出るのにも階段・エレベーターなど色々な行き方があります。なお、階段は運動をあまりしていない方でも上りきれぬぐらい段数は少ないです。

出口1から地上に出ると下図のような案内があります。



今回はJR六地蔵駅に向かっているので右に行きましょう。途中、自動販売機があるのでここでドリンクを購入しておくとも混んでいる会場で買わなくて済むので便利です。

そしてJR六地蔵駅に行き切符を購入等します。駅には料金表がきちんと貼ってあるので安心できます。なお、近隣に住む友人によると最近この駅のICカードをチャージする機械で500円チャージも行えるようになったとのこと。興味のある方は試してみてください。料金表を掲載しておきます。



切符を購入して改札を通りホームに向かいます。ホームにはエスカレーターはもちろん階段でも行けます。

それぞれの図を掲載しておきます。



電車はよく遅れるとのこと。余裕を持って行動するとよいでしょう。
これで来た電車で城陽まで行ってください。

それでは次のページでは城陽駅でのことについて説明します。

行き方（3）

このページでは城陽駅でのことについて説明しています。

城陽駅に無事に到着したら改札口を出ます。

すると下図のような案内を見ることができます。左側に進んでください。



階段を降りるとバス停があるのでバスに乗れば目的地まで到着します。

この時違うバスに乗ったり違うところで降りたりしないように気をつけてください。

道中

このページでは著者が歩いて会場に向かう途中に撮影した写真を公開しています。イルミネーションとは何も関係ないので興味のない方は飛ばしてくれても構いません。



この写真はある程度歩いたところで見つけました。カラオケとは書いてあっても実際にはスナックのような見た目でした。行った時には年末の休みに入っており中に行くことはできませんでした。結構山の近くにありますが。歌が好きな方は行ってみては??



こちらの写真はだいぶ歩いたところですが。ある程度歩くとこのような道が続きます。前に歩いている人（写真に写っている人です）もイルミネーション目当てでした。写真にはあまり写っていませんが左側の車道には比較的多数の車が走っていました。夜、イルミネーションが終わった後にもこの道を歩いたのですが街灯があまりない上に人通りが少ないので女性が一人で歩くのは少々危険かもしれません。また、行き道をしっかり覚えておかないと迷子なのに周りが暗く危険かも・・・。

他にも途中には公園などいろいろなスポットがありました。時間があれば行きだけでも歩いてみては??

園内

続いては園内に到着した後で撮影した写真をいくつか紹介します。こちらもイルミネーションとは一切関係ないので飛ばしても構いません。



こちらは公園の入り口で撮影したものです。この近くには人の像もありました。いったい誰なのかは行って確かめてください。（著名人ではないと思います。）



公園の入り口には先程示した石がありますがそこからこのような階段を上るとグラウンドを一望することができます。高さは結構ありなかなか眺めがよかったです。なお、グラウンドの利用には予約があるので公式サイトを確認してください。



こちらは公園にある橋の名前です。橋はこんな感じです。



この橋は二つのエリアを結んでおり信号を渡らなくても反対側に行くことができます。（グラウンドの方からイルミネーション会場へ自由に行き来！下は車で混雑しているので本当にお勧めです。）

電飾色々

著者が会場に到着した時、まだ点灯は行われていませんでした。

その分近くで撮影することができ、中にはイルミネーション前と後両方の物を撮れた物もありました。

このページではイルミネーション点灯時とは異なる姿を見せてくれた点灯する前の物を紹介したいと思います。

まずはこちら。



これはなんと表紙の画像と同じ場所です。

点灯する前にはこのような空間だったのですが点灯すると幻想的な雰囲気になります！

著者も含めて多くの人写真を撮っていました。光のトンネルみたいですね。

これには子どもたちもにっこり笑顔になっていました。

点灯してからは混雑するので二人だけで写真を撮りたいと考えている方、点灯していないので少々地味かも

しれませんが点灯前の写真はいかがでしょう？

十分にツーショットを撮れるチャンスはありますよ。

こちらが会場を上から見た様子です。



テントが並んでいて、主に食べ物を販売しています。（ライトセーバー等それ以外のものもあり

ますが)

ドリンクは高いので途中の自動販売機等で買うことをお勧めします。

食べ物はお好み焼きやたこ焼き・ラーメン等様々な物があります。

飲食スペースもありますがそれ以外だと階段で食べている人も見かけます。

上のほうに上るほどイルミネーションが綺麗に見えるのでお勧めですよ。

※ここもイルミネーションに包まれるんです！

他のイルミネーションで点灯する場所はこのような感じでした。



他にもたくさんの場所に準備がされていました。中には地元に関係した物もありました。これらが点灯した様子はこの後で紹介します。

施設

まず園内にはアスレチックのような物がありました。



こういったもので、滑り台などがありました。

遊んでいるのは主に小学校低学年までの子どもが中心でしたがベンチがあるのでそこに座って喋っている大人も多々見かけました。

それに、童心に戻りたい方にはいいかもしれません。

また、ローラー滑り台もありました。



長い物と短い物の二種類がありました。利用中止と書かれているにも関わらず多くの子どもが利用していました。

普段は板が置いてあるそうですが行った時にはありませんでした。

これらの施設は夜間になると遊ぶのは危険です。もし遊ぶ予定の方は早めに行きましょう。

また、ローラー滑り台の一番上には展望台みたいなスペースがあり、そこからの景色はとてもよかったので写真を載せておきます。

遊ぶのもいいですが景色を見るのもいいかもしれませんね。



おまけ

イルミネーションとは直接関係ありませんがこのような物が園内の一角にありました。



これは（もちろん）イルミネーションとは何も関係ありません。

ではいったい何？と思って「これ何だろうね？」と友人に話したところ突然話しだしました。疑問に思いつつも何度か会話を繰り返すと分かりました。

このぬいぐるみ、目の前で人が話したことを繰り返すみたい。

そうと分かってから話してみると声の高さなどは違うが確かにそっくり！

太陽光発電で充電した電気で動くみたいです。

横には電気自動車なんかもありました。

他にも写真は撮りませんでしたでしたが園内には有料のメリーゴーランド等もあり子どもはもちろん大人も乗ったりしていました。

点灯が始まってからは結構混むのでご利用は早めに・・・

点灯の瞬間

着いてから時間を潰すこと一時間。点灯前のイベントも徐々に終わりに近づいてきました。イベントは以下のように行われていました。



写真では伝わらないかと思いますがこの前には席が用意され多くの方が座っていました。

そしていよいよ点灯！

その瞬間がこちらです。

このように暗かったのが・・・



こうなりました！



カウントダウンとは少々点灯の時間がずれたものの大歓声！

とても綺麗でした。

一度にたくさんの明かりが点くので眩しいかもしれませんが、一番高いところに上ればもっと凄
いと思います。

次のページでは点灯している物について個々に撮った写真を紹介します。

電飾色々

前章でも同じタイトルがあったかと思います。

この章ではそこで紹介した画像が点灯するとどのように変化したのか写真で紹介していきます。

なお、施設が点灯した様子については次のページを参考にしてください。

まず表紙でも使用した入り口トンネルです。

中を撮影したところこのような感じでした。



一つ一つは小さいですが、それが集まると幻想的になるんですね！

点灯してからは他の人を写さないで撮影するのは大変なので（事実この写真でも写っています）

綺麗に撮りたければ点灯前に撮影してみてください！入り口から中を覗くと本当に幻想的です！

他はこんな感じです。



一番左の画像の中心付近に写っているのは響け！ユーフォニアムという小説に出てくる子ですね。

ファンらしき人が写真を熱心に撮っていました。

これ以外にも地元の物を電飾で紹介したものもありました。

それはこんな感じです。



次のページでは施設に付けられた電飾がどのように点灯したかについて紹介します。

施設

このページでは施設に施された電飾がどのように点灯したのかについて紹介します。



昼間子どもたちが遊んでいたアスレチックはこのようになっていました。

ローラー滑り台は特に点灯していませんでした。

アスレチックの点灯している様子は大人はもちろん子どもも驚き感動していました。

通常点灯するところには入れないことが多いのですがここは昼間であれば通常通り遊べるのでその違いを見るのも

楽しいかもしれませんね。

この電子書籍ではTWINKLE JOYO 2015について紹介しました。
画像は全て著者が撮影したものなので見苦しいところもあったかと思いますが参考になれば幸いです。

来年は15周年を迎え、ますます大掛かりな物になるそうです。ぜひ行ってみてください。

TWINKLE JOYO 2015について

<http://p.booklog.jp/book/103716>

著者：ユニ子

著者プロフィール：<http://p.booklog.jp/users/dokusyozuki1/profile>

感想はこちらのコメントへ

<http://p.booklog.jp/book/103716>

ブックログ本棚へ入れる

<http://booklog.jp/item/3/103716>

電子書籍プラットフォーム：ブックログのパー (<http://p.booklog.jp/>)

運営会社：株式会社ブックログ